

公民館報
新習志野

公民館報 / 新習志野

編 集 / 館報編集委員会

発 行 / 新習志野公民館

指定管理者 株式会社オーエンス

習志野市秋津 3-6-3 TEL 453-3400

<http://sinnara-kominkan.net/>

第 28 回 新習ふれ愛まつり

世代を超えて集いふれ合おう



3月2日 (土) 10:00~13:00

**[場 所] 新習志野公民館 前広場 / 1階学習室
2階多目的室**

[催 物] 各団体の発表 / バザー / 模擬店 / 抽選会など

[主 催] 新習ふれ愛ネット / 新習志野公民館

[問合せ] 新習志野公民館 TEL 047-453-3400

※内容は変更される場合もあります。詳しくは新習志野公民館にお問い合わせください。
※駐車場が混み合い駐車できない場合がありますので、車でのご来館はお控えください。



★令和5年度の文化祭に参加して★

リズム&気功 大場 節子

発足から31年目を迎えるリズム&気功です。「年齢を重ねても健康で生き活きと幸せな日々を過ごせる様に！」との強い思いの熱心な講師の元、毎回のレッスンはとても和やかで温かい雰囲気です。

昨年、4年振りの文化祭では、多くの見学者が参加され「とても楽しかったですね」と翌月から入会された方々がおられ、さらににぎやかで笑顔が絶えないサークルになりました。野田元総理大臣までもSPと共に見学に来られ、忘れられない文化祭になりました。



★文化祭のお礼★

サークル連絡協議会会長 稲田 宣英

コロナ騒ぎで3年間、文化祭も中止せざるを得ない状況となりましたが、やっと一昨年、文化祭というより小規模な発表会にて開催しました。

昨年は、コロナ明け2年目として一昨年よりはにぎやかな文化祭になりました。発表、展示等に参加された皆様お疲れ様でした。伊藤前会長時代の文化祭にはとても及びませんが、無事に終了し安堵しています。

世間全般のことですが、サークル活動にも高齢化が進んでおります。これも仕方のない面ではありますが、ここは年齢を忘れ、次回文化祭にむかって頑張ろうではありませんか。私自身80代半ば、次は若いリーダーにお願いしたいと思っています。会長は名ばかりで館長、副館長に大変お世話になりました。令和6年文化祭はマスクをはずし、にぎやかで元気な文化祭にいたしましょう。

★新習文化祭を顧みて★

陶炎 臼井 義男

国内各地に活気が戻りつつある中で文化祭が行われ、大勢の方が来場されました。

正面ロビーのフラワーアレンジメントでは目を楽しませ、多目的室では演奏にて心に癒しを。他の各室において工夫された催し物がたくさんありました。私共の研修室は「物づくり」陶芸、木彫り、和裁仕立て。特に陶芸は特殊な土から様々な工程を経て完成品が出来上がります。しばしば感動を覚えます。今後とも来館の方の期待に応えられるようがんばります！！



★サークル活動★

木彫はなみずき 小川 正蔵

昨年も文化祭の作品展示に参加でき、ほっとしています。コロナの影響や高齢化もすすみ、会員も半数近くになってしまいました。しかしながら、先生からの直接指導の時間も増え、木彫りだけでなくデッサンや塗りの勉強もできます。興味のある方は是非見学に来てください。

★文化祭を終えて★

アンサンブル・フォルテピアノ 松島 真木

一昨年の文化祭は、数年ぶりにお客さんの前で演奏できた嬉しさがありましたが、昨年はまた違った意味で感慨深いものがありました。

久しぶりに人数や距離の制限のない中、コロナ禍前はどんな動きをしていたのか、記憶をたどりながら音楽部門の皆さんで話し合いをしつつ準備を進めました。参加団体も減り、すべてがコロナ禍前のようにするのは難しいですが、できる範囲で無理なく、楽しく終わることができたことは、次回以降の大きな財産になったと思っています。

★日常の大切さ★

フォトサークル・ライト 窪田 正樹

色とりどりの花に迎えられ、華やかな雰囲気に包まれたロビー、喫茶コーナーでは、和やかな会話が弾んでいます。音楽の響きも加わり、盛大に文化祭が開催されたことは感慨深い想いです。

さまざまな未曾有の経験乗り越えて再開された文化祭を起点に、サークル活動が日常生活に潤いと交流の場として益々活発になるように望んでいます。そして楽しくワクワクするような文化祭を皆さんと一緒に作り上げて参りましょう。



辰年男・年女

辰年生まれ雑感

山本 健司

秋津まちづくり会議議長の山本健司です。本年もどうぞよろしく願いいたします。

私は、本年6回目の辰年を迎えました。十二支の中で辰（龍）だけが実在の動物ではなく、唯一の想像上の生き物です。その姿、形から辰年生まれの方は勇気があり、粘り強さ、知性を備え、行動力があり、強い夢や憧れにひたすら邁進する、などの勇ましい説があります。

しかしながら、何事にも例外があるもので、私のこれまで歩んできた人生の中で、辰年生まれだったから、ということはありませんように思います。

秋津まちづくり会議議長10年目となり、また地域のボランティア活動にもわずかですが携わっていることから、節目の年として更なる飛躍に努めていきたいと思っています。

とは言え、龍のごとく天高く舞い上がり、そのまま天に召されても困りますので、ドローンが飛ぶ範囲内での飛翔にとどめ、秋津地区に貢献していきたいと思っています。

アラカン

葛谷 弘美

人生の大きな節目、アラカン。まだまだ先のことだと思っていました。香澄に在住して25年、人と人との出逢いを「一期一会」の気持ちで大切にしていくこと、「ありがとう」の言葉を介して絆を結んでいくこと等、繋がりに感謝しています。

言葉の七福神「嬉しい、楽しい、幸せ、愛してる、大好き、ありがとう、ツイてる」素敵な七福神の言葉をこの地域でいつも感じています。人生のセカンドステージを楽しむために、子どもたちを成長させていただいたこの地域に恩返ししていきたいと思っています。

～福岡県大牟田市～

内山 朋子



私の田舎は、福岡の大牟田市です。昔、三井三池炭鉱があったところだよと言えば、ああと言われる方が多いです。あと、有明海のムツゴロウが知られています。

私が育ったところは、周りが田んぼに囲まれたのんびりしたところです。秋には、黄金色にたわわに実った稲が見渡せます。田の周りのあぜ道の真っ赤な彼岸花もきれいです。小学校までは、田んぼ道を30分から40分かけて歩いて、集団で登校していました。途中に、JR鹿児島本線があり、汽車が煙を吐きながら、ポーポーと走っており、私たちは、運転している人たちに、手を振って楽しんでいました。春には、一面の田んぼが蓮華畑になります。学校帰りに、給食で残したパンを蓮華畑で食べたり、転げまわって遊んだりしたものです。

7月の終わり頃、大牟田の町では大蛇山祭りがあります。いくつかの地区で大蛇を作り、当日はその大蛇を乗せた台車が街の中を練り歩きます。小さい子供をその大蛇の大きな口にかませ、無事に成長するように願います。

田舎を出てもう50年が過ぎましたが、帰ると懐かしいです。「よかねー」「おもしろかねー」「でけんばい」「なんばしょつとね」「がまださんとでけんね」等々すぐに方言が出ます。関東に出てきたときには、方言がでないようにと恥ずかしく思っていました。田舎言葉は良いものです。趣があります。



地域あつての「海辺のコンサート」

平山 宣尚

「海辺のコンサート」も昨年で11回目を迎えました。他の地区で実施されているコンサートは、公民館の学習圏会議が主催していることが多いのですが、この地区のコンサートは学習圏会議と地域の諸団体とで構成される「海辺のコンサート実行委員会」が主催して開催しています。テーマを「音楽でつながる学校と地域」とし、地域をあげての音楽イベントとなっています。地域あつての音楽会、これからも鋭意盛り上げていきたいと思ひます。[令和5年11月18日(土)]

お知らせコーナー

~From 公民館~



やむをえず、講座内容変更する場合があります。最新の情報を新習志野公民館 HP、電話等でご確認ください。

H P <http://sinnara-kominkan.net/>

TEL 047-453-3400

1月27日(土)

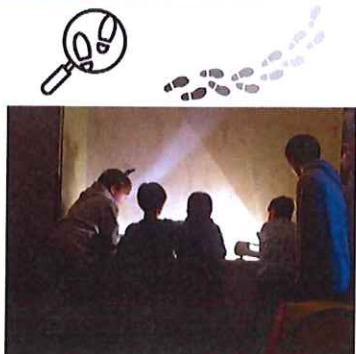
ユースリーダー養成講座の中で小学生向けのワークショップを企画し開催しました。



大学生の先輩スパイと一緒にミッションをクリアしてお宝をゲットせよ!!



新習スパイ大作戦



この館報は公民館にも置いてあります。また、ホームページでもご覧いただけます。



編集委員

が行く



黄色い旗に守られる朝

香澄小の登校時間帯、朝日が眩しくて信号が見えづらい上に、車の往来が多い。交通安全ボランティアの方が振る、低い位置の黄色い旗が安全の目印になる。小中学生だけでなく、自転車で通学する高校生も朝の挨拶をしながら通り過ぎる。有難い風景。

この交通安全ボランティアの一人の方が、12月で引退されます。16年にわたり活動をしてくださいました。ありがとうございました。

さて、この交通安全ボランティアの活動に関心のある方はいらっしゃいませんか？ 毎日だけでなく、全ての時間でなくても、朝の短い時間、黄色い旗を振って子供たちの交通安全を見守る活動。「週一回くらいなら・・・」という方が一人でも二人でも現れますように。



編集委員のつ・ぶ・や・き

一人娘が3月に結婚して、夫婦二人の生活になった。“新婚時代を思い出して”なんてことはなく、ぎこちない生活が始まった。会話する話題もなく、黙々と食事をする日が続いた。そのうち、夫はトレッキングとやらにはまり、私にも勧めてきた。運動嫌いの私は……。10ヶ月たった今は、会話も増え(飼っている猫たちの話題)、美味しそうなお店を探しながらの散歩と行動を共にすることも増えた。人生100年、今後ともよろしく願いたい。

T. K